

平成 29 年 9 月 15 日 発行

新学期、きりりと気合いの入る本を読もう。



龍北図書室キャラクター
ほんちょう

図書だより 9月号

兵庫県立龍野北高等学校図書委員会

図書室の利用について

【開室時間】★平常時★

- 平日…昼休み 12 時 50 分～13 時 10 分
放課後 15 時 30 分～17 時
[貸出は 16 時 30 分まで]
- 1 人 3 冊まで借りることができます。

【移動図書デイ】

毎週火曜日・木曜日の昼休みに
移動図書室をアカデミックストリート 2 階北側で実施して
います！図書室にある本の一部が皆さんの近くにやってきます。
9月12・14・19・21・26・28日
10月3・5・10日

9月中～10月中旬の開室予定

10月12～17日 中間考査中 11 時～12 時半まで
開室します。
それ以外は、平常どおり

図書委員のイチオシの本紹介



『君が香り、君が聴こえる』小田 菜摘
この本では、目が見えない少年とだんだん目が見えなくなる少女の恋と葛藤が描かれています。この本を読んで私は、目が見えないからといって何もできないわけでもないということと、相手のことを想う気持ちの大切さを感じました。あたりまえに思っていたことがあたりまえではないということを考えさせられました。心温まるエピソードなのでぜひ読んでみて下さい。
2年6組 森本 菜々

近々、購入する予定です。



『おかえりの神様』鈴森 丹子

就職を機にひとりぼっちで上京した神谷千尋だが、その心は今にも折れそうだった・些細な不幸が積みもり積もって、いろいろなことが空回り。誰かに相談したくても、今は深夜、人、ひとりいない中、狸だけがいて、寂しさのあまり連れ帰ってしまったのだが、なんとその狸は人の言葉を喋り、おまけに神様だった。「なんでも話せる相手がいる」その暖かさが心に響くお話です。表紙の絵が優しくて、かわいいので、ぜひ読んで頂きたいです。

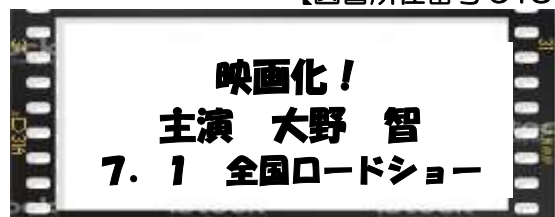
3年5組 船瀬 唯菜

近々、購入する予定です。

新しい本が43冊、入ってきました！少しずつ紹介します。



『忍びの国』和田 竜
「天正伊賀の乱」を背景に、全く新しい歴史
小説の到来を宣言した圧倒的快作。
【図書所在番号 913-フ】



『美堂橋さんの優雅な日々』椿 ハナ
「美とは、残酷だ。」
とある街の摩訶不思議な骨董店—
そこは、悲しい過去を背負い《罪人たち》
の隠れ家
【図書所在番号 913-ツ-3】

『三人の大叔母と幽霊屋敷』堀川 アサコ
「嫁いびりが命」の三姉妹が
村に越してきた！
予言村の転校生・奈央が謎を追う「ほの
コワ」不思議冒険ファンタジー
【図書所在番号 913-ホ】



『陰陽師』夢枕獏
美しきかはひらことな
り、飛び去った財宝。
困惑した屋敷の主は、清明に使いを出す
がー。
【図書所在番号 913-コ】



『死と乙女』赤川次郎
読み出したら、止まら
ない
寝不足に注意！
【図書所在番号 913-ア】



『かあちゃん』重松 清
生まれてきた瞬間、いち
ばんそばにいてくれる
ひと。
—あなたのおかげで、僕はひとりぼっち
ではありません。
【図書所在番号 913-シ】